

萌黄 (もえぎ) 通信



みなさんお元気ですか？

何年か振りに中華食堂に行ったら、店員さんに「あら久しぶり」と言われて、しっかりと覚えていてくれたんだと、何だかうれしくなった堀内貢次（ほりうち こうじ）

です。(^^)/です。

3月といえば年度末です。

急な仕事の依頼の増える時期です。つい、たくさんの仕事を受けて「あちゃー！ ダブルブッキングしちゃったー(汗)」とならないように気を付けて下さいね。 ☺ 📧

「我が家の愛犬、尻尾の切断に成功！」

2月10日、老犬の「ココ」が尻尾に悪性の腫瘍が出来てしまったので、切断の手術をしてきました。手術は無事に成功しましたが、大きさは鶏のモモ肉くらいに膨れ上がっていたので、尻尾から更に奥深くまで腫瘍をえぐり取ったため2日間く



らいはかなり痛くて辛そうでしたが、これでまずは一安心でホットしました。少しでも長く生きてもらいたいものです。

「サモアの鉄分の黄変」

先日、あるゼネコンさまより、「サモア（ブラジル産の御影石）のサビは、浸透性吸収防止剤のコートで止まるの？」という問い合わせが入りました。

懇意の取引先で浸透性コートを製造しているA社に聞いてみたところ、浸透性の吸収防止剤でしっかりと浸透層が出来ていても、コートの浸透層のある部分からでも茶色いサビが発生しているという写真を頂きました。

サモア以外には、弊社の拠点の山梨県でも「塩山石」というのが採掘され高級墓石に使用されているのですが、こちらも鉄分が多く含まれている部分があり、過去に何度もコートの塗布を繰り返しましたが、完全に止めることはできませんでした。

中国で石の切断加工後に浸透性の吸収防止剤を塗布して日本まで運ばれてくる数十日の間でサビが発生している写真もあ

り、吸水率は当然、低くなるのでコートをやらないよりも良いものの完全除去には至らないのが現状のようです。



1. 壁石から発生している茶サビ



2. 上の乾いた部分は浸透層



3. 中国からの小口コート処理済みのパレットからもサビの発生



4. 乾いた浸透層からもサビ発生

シール材の選択ミスによる濡れジミ

ピアノコを張替えた時にシールの選択を間違ったようで、額縁上の濡れジミが発生しています。溶剤とシミ抜き剤を使ってシミを目立たなくしていき全面的洗浄をします



(編集後記) 先日、90歳になる方とヨガをしてきました。凛としていて、バランスもとても良いのです。その秘訣はきっと姿勢の良さなんですね。私も気を抜かないように気を付けたいと思いました。

萌黄通信 毎月？発行

発行編集責任者 (株) ケイ・アンド・エス 堀内貢次 (ほりうちこうじ)

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 5F

(電話) 03-3431-1293 (Fax) 03-3431-7198 [感想・ご意見お待ちしております](#)

<http://www.e-kands.jp> (メール) info@e-kands.jp